

去る7月7日は、大雨のため本校は休校日でした。幸いにもこの近辺では大きな被害もなく胸をなで下ろしていましたが、中国山地を越えた反対側では大変なことになっていました。この西日本豪雨により隣の広島では洪水、地滑り、土砂崩れなどで100人を超える人が亡くなり、未だ行方不明の方もいらっしゃいます。岡山県や愛媛県でも多数の犠牲者や被害が出ました。

10日後の7月17日、広島では予定から10日遅れて全国高校野球選手権広島大会の開会式が開催されました。開会式に参加したのは全88チームのうちの2チーム、会場もマツダスタジアムから三次市の野球場に変更されました。開会式で安芸南高校の主将の田代君は、自宅近くが土砂で埋もれた状況や行方不明の友人を心配しながら、野球をやっている場合じゃないとも思ったといいます。しかし、彼は次の言葉を交えて宣誓しました。「被災された方々に勇気と力を与えられるように全力でプレーします。」

彼が出した結論は、「今は全力でプレーすることで災害にコミットするのだ」ということです。コミットにはいろいろな意味がありますが、ここでは「自分との関わりを感じ取り組むこと」とします。2、3生は覚えていますか。3月の離任式のときに離任される教頭先生が挨拶で言われた言葉ですね。

では君たちは、今度の災害にどのようにコミットするのでしょうか。直ぐということであればボランティア作業をする、募金活動をするなどあるでしょうが、間接的にあるいはもっと時間をかけてコミットすることもできます。豪雨災害を押さえるには多くの分野が関わっています。防災対策、防災教育、建築、都市開発、地質、医療、高齢者福祉などなど。ほとんどの職業は今回の災害に何らかの形で関わっているはずです。

社会で起きる様々なことに関心を持って自分とのつながりを考えてみることに。そしてコミットできる分野に自分を投じること、間接的ではありますがそれもコミットすることになると思います。思考は、事と事、ものともとの関連を考えることで深まります。世の中で起こっている出来事が、身の周りの生活や自分の将来とどう関わっているのか考える習慣を持ってほしいと思います。そして自分の言葉で表現できるようになってほしいと思います。

今年度から始めた朝礼時新聞記事を読みまとめる「社高生の社会常識」はそういうことがねらいです。出来事と自分のつながりを感じれば、心が動き志が芽生え、志が芽生えれば行動が生まれます。学習はその行動のひとつなのです。

明日から夏季休業に入りますが、自己実現を目指し何か一つ達成したという夏にしてほしいと思います。苦手分野を基礎から徹底して復習する、「社高生の社会常識」のようなことを毎日行うなど、具体的な目標を決め取り組んでみてほしいと思います。きっと成果が得られます。あるいは取り組んだ経験が今後の財産になります。

酷暑が続いています。健康や安全にくれぐれも留意して充実した夏休みを送ってください。

平成30年7月20日

島根県立大社高等学校
校長 吉田 彰二